

[005] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9841>

出版情報：中国文学論集. 5, 1976-03-25. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

前号を上梓して以来、早くも一年有余の歳月を閲した。その間さまざまな困難に逢着しながらも、ようやく今、会員ならびに愛読者各位の待望に応えて『中国文学論集』第五号を発行するに至ったことは、まことに喜びに堪えない。

ところで今回の論集の特徴は、執筆者の研究テーマの多彩さにあるといえよう。そのテーマは、六朝、唐、明、清、現代、と広く中国の古今の文学に及んでいる。これは、もちろん執筆者各自の個人的な関心の表われであるが、こうした自由闊達な学問研究を十分に進めることができるのは、教官や先輩諸氏によって育てられてきた「中国文芸座談会」における会員相互の熱心な意見交換、懇切なアドバイスがあることにもよる。あるいはまた、岡村繁、林田慎之助両先生と学生たちとの、酒を飲み夜を徹しての激烈な討論が効果をもたらしているのかもしれない。いずれにせよ、今後とも我々は力を合わせて、この愛すべき「文芸座談会」をいよいよ発展させていかねばならない。

また、特に中国との国交回復以来、彼国の文化面での情報が踵を接して我国に紹介され、しばしば我々の目を驚かしている。もっとも、最近の批林批孔運動や『水滸伝』批判など、日本人にはなじめない現象も少なくはないが、とにかく新しい国家の建設に意欲を燃やす中国のすがたを目のあたりにし、我々の古典研究においても現代への展望が大きく開けてきたといえる。こうした状況は、おのずから我々の研究室に新たな文学研究への意欲を生み、昨年来、秋吉久紀夫、山田敬三両先生の指導のもとに「近代文学研究会」を発足するに至った。

ともあれ、我々はこうした学問的にも時代的にも恵まれた環境にあって、更に一步の前進を決意し、また愛読者各位の暖かい御支援を期待する次第である。

(阿部泰記)

中国文学論集

第五号

昭和五十一年三月二十日 印刷

昭和五十一年三月二十五日 発行

編集兼
発行者

福岡市東区箱崎 九州大学文学部内

九州大学 中国文学会

代表者 岡村 繁

振替口座 福岡三三五〇七番

印刷所

福岡市中央区舞鶴二丁目五番六号

川島弘文社

代表者 川島道昭